

# LIFE LIGHT LOVE



## 入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働し、本学で学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科において幅広い知識と豊かな表現力を身につけ、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
3. 高等学校における学習によって、入学しようとしている学部学科での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれ

らを応用する力を有している。(知識・技能)

4. 高等学校で得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般の問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)

## 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。  
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。  
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力(コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど)及び英語力を身につけ、活用することができる。
3. 課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組む

ことができる。

地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、教養教育及び専門分野の学修成果を総合的に活用することで課題の解決案を提示することができる。

4. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法及び価値観に理解を示すことができる。  
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
5. 専攻分野の学修成果を活用及び説明できる。  
専攻する学問分野の専門的知識及び固有の認識や思考方法について、学修者自らが学修成果を活用し、「何を学び身につけたか」を説明できる。

## 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果(以下「学修成果」という。)を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1～4を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。
4. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「課題探究」を置き、その中で自ら課題を発見し、その解決を希求する姿勢を養う。

5. 教養教育科目の「人間的基礎」、「知的基礎」、「課題探究」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせ、学修成果1、2、4の達成と専門教育との接続により学修成果5の基礎とする。

6. 学修成果3は、能動的学修にむけた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部となる。さらに、教養教育及び専門教育の学修成果の活用を主たる目的として、専門教育科目に演習形式の授業科目を置く。

7. 学修成果4を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「共通教養」科目群を置く。また、初年次の専門基礎科目もこの学修成果を達成するための基礎とする。

8. 学修成果5を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置く。

9. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう学科ごとに適切に定める。

# 2025年度入学者選抜制度一覧

東北学院大学の入学者選抜は、全13種類。  
それぞれの特徴を理解の上、あなたに合った受験方法を選びましょう。

学力試験で受験を希望する方

地区試験場

複数学科出願可能

WEB出願

一般選抜(前期A・B日程) p.08

東日本地域別スカラシップ選抜 p.13

一般選抜(後期日程) p.15

大学入学共通テストの成績を利用して受験を希望する方

複数学科出願可能

WEB出願

大学入学  
共通テスト利用選抜 p.17

本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方  
また、合格した場合は入学を確約できる方

専願

総合型選抜 p.20

各推薦制度において、条件を満たし、合格した場合は入学を確約できる方

- 学業成績による推薦…本学が指定した高校で、全体の学習成績の状況が3.8以上の方
- キリスト者等推薦…キリスト者の方、またはキリスト教の学校の生徒で条件を満たす方
- 資格取得による推薦…簿記または情報処理に関する検定の一定の資格がある方で、一定の学習成績の状況を満たす方
- スポーツに優れた者の推薦…スポーツで特に優れ、入学後もその競技を続ける方
- 文化活動に優れた者の推薦…文化活動で活躍し、入学後もその活動を続ける方

WEB出願

専願

学校推薦型選抜 p.24

- 学業成績による推薦
- キリスト者等推薦
- 資格取得による推薦
- スポーツに優れた者の推薦
- 文化活動に優れた者の推薦

- 帰国生特別選抜…本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方
- 外国人留学生特別選抜  
…留学を希望する外国籍の方で、日本留学試験の成績が基準以上の方
- 社会人特別選抜…高校を卒業して3年以上経つ方

WEB出願

特別選抜 p.33

- 帰国生特別選抜
- 外国人留学生特別選抜
- 社会人特別選抜

短大・専修学校卒業の方、大学に一定期間在籍し必要単位を修得した方

WEB出願

編入学選抜 p.37

## 各種データなど

募集要項について	38
受験上及び修学上の配慮について	38
合否照会システムについて	38
小論文過去問(学校推薦型選抜・総合型選抜)	39
受験生Q&A	42

入学者選抜結果	44
奨学金・特待生制度	48
学生納付金等	50
資料請求について	52